

高田地区キャラクター
「たかたん」

高田町内会だより

第 34 号
発行日: 令和4年2月1日
発行者: 高田町内会
会長 宮田 寿雄

正月風景とSDGs

皆様、新年明けましておめでとうございます。今年の正月もコロナ禍で迎える事に成りましたが、感染症対策をしっかり守り、辛抱強く頑張りましょう！

令和4年1月5日



高田町内会会長
宮田 寿雄

近年正月風景が変わりました。しめ飾りは神棚や玄関に飾りますが、車のお飾りは？おせち料理は作りますか？お店が開いているので作らなくても困りません。

昨年大晦日の国民的行事、紅白歌合戦のTV視聴率は史上最低でした。

同じく大晦日恒例の除夜の鐘も変化があります。

夜中の騒音や担い手の問題で一部夕暮れ時に移行しています。(除夕の鐘)

「年賀状は今年で終わりにします」がチラホラ。

SDGsとは“持続可能な開発目標”と訳されています。(1月広報よこはま4頁)

昨年10月より町内会役員は、全会員共通の話題として県・市・区広報紙記事を取り上げています。今月は「持続可能なより良い未来を築くことを目指す」と言う「17のゴール」の中で、町内会として身近な「**貧困(教育格差)**」「**働きがい(働き方改革)**」「**気候変動(災害対策)**」を共通テーマとして意見交換をしましょう。今年の我が町内会 SDGs の取り組みは？

3月11日「無事ですタオル」で減災訓練

昨年、関東地方でも震度3・4の地震が何回も発生し、その度に「ヒヤッ」としました。

平成23年3月11日発生した東日本大震災の時、横浜市では震度5強の揺れの地域があり、高い所から物が落ちたり電車が止まったりしたこと等を思い出します。

昨今、想定されている震度6弱の地震では、固定して無い家具が倒れたり、ドアが開かなくなったりして、家の中で身動きがとれなくなってしまうことも考えられます。

発災後、在宅者の安否確認の為、無事の意志表示のタオルを出してもらうことで各家を訪問しなくても無事が確認でき、救助・救援が必要な方を一刻も早く発見する手段の「無事ですタオル」を昨年7月に配布しました。

今回、3月11日に震度6弱の地震発生のおぼろげなものと、「無事ですタオル」の掲示訓練を実施しますので、玄関前など道路から見える場所に掲示してください。詳しくは2月の回覧をご覧ください。



災害備蓄『アルファ米』

安全部で各ご家庭の災害備蓄品状況を調査した結果、食料品にパン類は有るが米類の備蓄が少ないことが分かりました。そこで町内会備蓄品として、熱湯で15分、水なら60分浸せば食べられるアルファ米を町内会の今年度補正予算で1000食購入しました。

しかし、災害規模によっては全く足りません。各ご家庭で最低3日分の備蓄をしましょう。



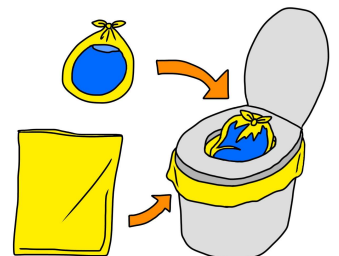
災害備蓄『トイレパック』

全会員にお試し用として2月にトイレパックを1個お届けします。各ご家庭でお試し下さい。

災害時、下水管が破損するとトイレが使えなくなります。

1人1日5個程度必要と言われていいます。災害時に備えましょう。

「備え有れば憂い無し」



特別会員様のご紹介

高田町内会の活動にご協力頂いております皆様方です



防犯パトロール



出発前に安全部長の挨拶と説明

12月11日(土)夜7時から連合町内会合同の防犯パトロールがありました。年2回行っており、高田町内会は19の地域に231名(内、子供41名)が別れてパトロールしました。今回はいつもと比べて寒さは厳しくありませんでした。初めてお会いする人も多く、スタート前に名前や住んでいる所の紹介をし、パトロール中は色々な話で盛り上がりつつありました。

途中、巡回中の消防団の消防車ともすれ違い、地域が一体となっている事を感じました。

高田って どんどころ？ -30-



高田西4丁目の高田上耕地公園

高田上耕地公園はマンション建設に伴う公園で、平成2年に約30m×40m程の小さな公園として完成しました。当初管理する方がいませんでしたが、地元の宮田宏さんが草刈りなどをボランティアで作業してくれていました。今は転居されていますが、後任にと言われ四年ほど前から週に二、三回の清掃草刈り等を一人でやっております。五年ほど前に遊具の更新と、露出している地面の整地が行われました。その際に健康器具としてぶら下がり器が追加設置されました。大人向けの健康器具で散歩や体操中の高齢者が利用していますが、子供も元気によじ登ったりして好評な器具です。三年前には花を植えようと考え、サッカーボール等で花が潰されないように廃材で囲いを作ってスペースを確保し、カトレア、百合、チューリップ、パンジー、その他を購入しました。道からよく見える場所なので通りがかりの人が楽しんでます。夏には朝顔が柵に絡んで花を沢山咲かせています。ナスやミニトマトも採れました。今は流れ込む土砂の除去に苦労しています。平日の午前には保育園児が十名ほど訪れ、元気に走り回って可愛い声が聞こえてきます。夕刻は小学生が多いときには30人ほど、グループごとに遊んでいます。



健康器具と富士山

高田上耕地公園愛護会会長 今井敏博



囲いで守られている花

編集後記 ウィズコロナ、SDGs、情報のデジタル化等、とかく変化を求められる近年です。頑張って変えるコトも大切かもしれませんが、変えるべき、変えたい、変えてはならないコトの見極めも大切です。「地球や人に優しくするための変化」を皆で考えていきたいです。

(S.F)